みなみ

区のマーク

保健福祉センターだよりは月1回、15日号に掲載

城間　優衣さん
(小学3年生)作

※年齢・学年は応募時のものです

似顔絵募集中

応募方法は区ホームページを見てね。

区の広報担当キャラクター
「ため蔵」くん

区役所代表電話 ☎561-2131
区ホームページ 福岡市南区 検索
〒815-8501 南区塩原三丁目25-1
窓口受付時間：午前8時45分～午後5時15分
(土日・祝休日・年末年始を除く)

人口 265,063人 (−149)
男122,964人 女142,099人
世帯数 129,805世帯 (−94)
令和2年9月1日現在推計(前月比)

期=日時、開催日、期間　所=場所　問=問い合わせ　F=ファクス　対=対象　定=定員　料=料金、費用　持=持参　託=託児　申=申し込み　✉=メール　HP=ホームページ

～障がい者就労支援施設～ みんなが活躍できる社会を目指して

区内32カ所の障がい者就労支援施設では、障がいがある人が働くために必要な知識や技能を身につけようと日々活動しています。

福岡市立なのみ学園

昭和63年に設立され、求職活動や、菓子作りの技能習得等の支援を行っています。施設長の阪本光紀さんは「地域のイベントに参加したり、高校の売店でお菓子を販売したりするなど、地域との交流が多い施設です。クッキーは設立当初から同じ製法で作っています。10種類あり、学園の看板商品です」と語りました。

見映えにもこだわって袋詰め

NPO法人　花の花

平成16年から活動を始め、現在33人の利用者がクッキーや野菜作り等の技能習得に励んでいます。理事長の河邉(かわべ)恵子さんは「多様な感性を持つ利用者が集まることで、私も含めてみんなが成長できていると思います。国産の原料にこだわっているクッキーは、アレルギーの人にも配慮して卵や乳製品を使用していません」と話しました。

クッキーは一枚ずつ丁寧に手作り

福岡あけぼの会 みらい

平成15年から活動が始まり、40人の利用者が菓子作りや喫茶店運営、生活訓練等をそれぞれの希望に応じて行っています。

包丁の扱いは慣れたもの

管理者の判田章江(ゆきえ)さんは「スタッフと利用者がお互いに支え合う関係を築けるように努めています。利用者が丁寧に作る日替わり定食は栄養バランスが良く、ドリンクも付いておすすめです」と笑顔でした。

◇　◇

区役所では、木曜日の午前11時半～午後2時半に施設で作られた商品を販売しています（不定期開催）。10月の販売予定は**左表**の通りです。詳しくは、区総務課（☎559・5005・F561・2130）へ問い合わせを。近くにお越しの際はどうぞお立ち寄りください。

【問い合わせ先】
区企画振興課
☎559・5017
F562・3824

日程	販売施設名	販売内容
10/15(木)	なのみ学園	クッキー スイーツデコ※
	花の花	クッキー 野菜
10/22(木)	福岡あけぼの会 みらい	クッキー パウンドケーキ

※スイーツを模した、樹脂粘土製のハンドメイド作品

その困り事 シルバー人材センターへ

市シルバー人材センターは、高齢者の豊富な経験や知識・技能を生かして地域社会に貢献する公益社団法人です。区では、健康で働く意欲のある約1,100人の高齢者が会員となり、家庭や企業などからの依頼に応じて活動しています。

「ちょっとしたこと」をすすんで引き受けます

○剪定(せんてい)や草取りの庭仕事
○掃除・洗濯・炊事などの家事
○近所のスーパー等への買い物 など

相談内容によって見積もり額を提示し、依頼者が納得した上で作業を行うので安心です。高齢者だけでなく子育て世代にも多く利用されています。

活躍する会員に話を聞きました

同センター南出張所の会員で、家事援助班の班長・阿部和代さんは「退職後のやりがいを見つけられた上に、人から感謝されることがうれしくて充実した毎日を過ごしています。元気な『シルバー』が皆さんの依頼を待っています」と笑顔でした。

働くことが健康の秘訣(ひけつ)

◇　◇

相談や依頼は電話で受け付けています。まずは気軽に問い合わせを。

【問い合わせ先】
シルバー人材センター南出張所
☎551-4680 F551-5300

11/13(金) 生後1～3カ月 新米ママのための親子セミナー

初めて子育てをするお母さんを対象に、ふれあい遊びやミニ講話を行います。期午後1時半～2時半所区保健福祉センター講堂問区地域保健福祉課 ☎559-5133 F512-8811対区内に住む今年8・9月生まれの第1子とその母親定先着16組料無料持母子健康手帳、バスタオル、その他赤ちゃんに必要な物申10月20日(火)午前9時半以降に電話で同課へ申し込みを。

イベントに関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、一部イベントが中止・延期になる場合があります。イベントの実施については、各問い合わせ先へご確認ください。

11/26(木) 広報紙作成のためのスマホ写真講座

スマートフォンの写真撮影・加工の技術を学び、ボランティアで地域の広報紙作成のお手伝いをしてみませんか。講座を受講後、活動先としてお住まいの地域で行われている地域福祉活動を案内します。

期午前9時50分～11時50分所アミカス研修室A・B問区社会福祉協議会 ☎554-1039 F557-4068対区内在住でスマートフォンを所有している人(50歳以上優先)定先着10人料無料申10月15日(木)から11月11日(水)までに電話かはがき、ファクス、メール(minamiku@fukuoka-shakyo.or.jp)に**本紙14面の応募事項**と、お使いのスマートフォンの機種名を書いて同協議会へ申し込みを。

10月は3R推進月間です

ごみ減量シンボルマーク[かーるちゃん]　市の環境シンボルキャラクター[エコッパ]

3R(スリーアール)とは、リデュース、リユース、リサイクルの3つのRの総称です。

Reduce(リデュース)(ごみを減らす)
・買い物袋を持参する
・食べ残しをしない
・マイボトルやマイカップを利用する

Reuse(リユース)(くり返し使う)
・シャンプーや洗剤などは詰め替え製品を使う
・着なくなった衣類などを他の人に譲る

Recycle(リサイクル)(資源として再利用)
・新聞や雑紙などを地域の集団回収に出す
・空きびんやペットボトル等は分別収集を徹底する

まずは、ごみを減らすことから始めてみませんか。環境に配慮した行動を心掛け、人にも環境にもやさしいまちにしていきましょう。問区生活環境課 ☎559-5101 F561-5360

期=日時、開催日、期間 所=場所 問=問い合わせ F=ファクス 対=対象 定=定員 料=料金、費用 持=持参 託=託児 申=申し込み ✉=メール HP=ホームページ

～災害発生時の強い味方～

モバイルファーマシー

モバイルファーマシー(**右下写真**)は、区内にある第一薬科大学が所有する県内で唯一の車両です。薬品庫や調剤所の機能を兼ね備えており、災害時にライフラインが寸断された場合の臨時薬局としての活躍が期待されます。市は、同大学および福岡市薬剤師会と同車両の活用についての協定を締結。災害時には3者が連携して円滑な医薬品の供給に努めます。

◆モバイルファーマシーを活用した実地訓練

8月にコロナ禍・猛暑日・震度6強の地震を想定した訓練が行われました。薬剤師がモバイルファーマシーで避難所へ行き、調剤や服薬指導等を行うまでの流れを確認しました。体調不良者は隔離したスペースで対応します。

薬剤師は防護服等を着用

同会副会長の山野徹さん(60)は「災害発生当初に薬が必要な人たちに対して、迅速に提供できるようにこれからも訓練していきたいです」と話しました。

同大学教授の窪田敏夫さん(48)は「薬剤師会や福岡市との連携強化、薬剤師の災害対応力の向上にもつながりました。万一の際はこの車両が市民の皆さんの役に立てばと思います」と語りました。

問区総務課 ☎559-5063 F561-2130

◇ ◇

災害時に薬をもらうためには詳しい薬の情報が必要です。**「お薬手帳」を携帯する習慣を身に付けましょう。**

ボランティアのきっかけに 南区市民ふれあい奨励金

区社会福祉協議会では、区内の地域福祉活動の支援やボランティア活動の促進を目的に「南区市民ふれあい奨励金」の申請団体を募集しています。

助成金額は1事業当たり上限20万円。新規事業実施に必要な初期費用が助成の対象です。問区社会福祉協議会 ☎554-1039 F557-4068対原則、メンバーの3分の2以上が区内在住で、区内で地域福祉の振興に寄与する事業を行う団体およびグループ申12月28日(月)午後5時まで。申し込みの際はまず同会へ電話を。

～求む情報提供～ 道路や公園遊具等の破損情報

道路などの安全のため、次のような状況に気付いたら情報提供のご協力をお願いします。

▷道路が陥没している＝**写真**

▷ガードレールが破損したり、カーブミラーや照明灯などが倒れたりしている

▷公園の遊具・ベンチなどが破損している

▷河川の堤防・護岸が壊れている

▷側溝が破損している

車止めの破損

下記の電話等に加え、福岡市LINE公式アカウント(**右コード**)からも通報できます。

こちらから友だち登録を

問区維持管理課 ☎559-5092 F559-5096✉ijikanri.MWO@city.fukuoka.lg.jp

一人一花通信

花で笑顔を咲かせ隊

第14回

松ヶ枝公園(和田二丁目)の花壇は、平成29年から中尾一丁目3区自治会によって管理されています。花壇がきれいに見えるように、花の色や高さを変えるなどの工夫をして植えられているのが特徴です。また、春と秋の植え替えによって、季節ごとの花が花壇をきれいに彩ります。

9月14日には、同会の2人で花の剪(せん)定や水やりを行いました。

同会の野田百合子さんは「花の近くにネームプレートを添えているので、『花の知識が増えました』などと地域の人から声を掛けてもらえてうれしいです。花壇をきっかけに地域の皆さんともっとコミュニケーションをとりたいです」と話しました。

種から丁寧に育てている野田さん(手前)と笠木伸子さん(奥)

【問い合わせ先】
区企画振興課
☎559・5017
F562・3824

保健福祉センターだより

【問い合わせ・申込先】 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため中止・延期になる場合があります
①予約センター ☎0120-985-902 F0120-931-869 ②健康課健康づくり係 ☎559-5116
③健康課母子保健係 ☎559-5119 ④健康課企画管理係 ☎559-5114 ⑤健康課精神保健福祉係 ☎559-5118
②～⑤共通 F541-9914 ⑥地域保健福祉課 ☎559-5133 F512-8811

種類		実施日 10月	11月	12月	受=受付時間 実=実施時間	予約	対象者・料金・場所等 費用の記載がないものは無料、場所の記載のないものは保健福祉センターで実施	問申
よかドック(特定健診)		―	2 13 30	2 14	受 8:30～10:30	要	対40～74歳の市国民健康保険被保険者料500円	①
がん検診	胃がん(胃透視)、大腸がん 子宮頸(けい)がん、乳がん					要	【胃がん】対40歳以上料600円【大腸がん】対40歳以上料500円【子宮頸がん】対20歳以上料400円【乳がん】対40歳以上女性料40歳代1,300円、50歳以上は1,000円	
がん検診	肺がん・結核					要	対料40～64歳500円、65歳以上無料。喀痰(かくたん)細胞診検査は別途700円 ※喫煙者など一定の条件に該当する50歳以上のハイリスクの人	
骨粗しょう症検査						要	対40歳以上料500円 ※骨粗しょう症で治療中または経過観察中の人を除く	
栄養相談		20	4、20	7、18	実10:00～14:45	要	乳幼児や高齢者、生活習慣病予防などの食生活についての個別相談	②
離乳食教室		19	16	21	実13:00～15:00	要	対生後4～6カ月の赤ちゃんとその保護者	
肝炎検査(B型・C型)		20	17	15	実 9:00～11:00	―	対20歳以上で検査を受けたことがない人	
エイズ・クラミジア・梅毒検査		20	17	1、15	実 9:00～11:00	―	匿名での検査	
マタニティースクール		26	未定		実13:30～15:30	要	対市内在住の妊婦	③
献血		【10月】▷16日9:30～11:30＝弥永西公民館▷18日9:30～12:30、13:30～15:00＝野多目公民館▷20日9:30～12:00、13:00～15:30＝髙木公民館▷26日10:00～12:00、13:00～16:00＝西鉄大橋駅西口広場 【11月】▷10日13:30～16:00＝鶴田公民館▷11日10:00～12:30、13:30～16:00＝サニー長丘店 対男性:17～69歳、女性:18～69歳 ※65歳以上は60～64歳の間に献血経験がある人						④
こころの健康づくりセミナー		30	6	―	実14:00～16:00	要	対うつ予防に関心のある人	⑤
心の健康相談		28	25	23	実 9:30～11:00	要	精神科医が対応	
心の健康相談		―	12	10	実13:30～15:30			
精神保健家族講座		―	27	―	実13:30～15:30	要	11/27「作業所・グループホーム見学」対心の病を抱える人とその家族や支援者	
発達が気になる子どもと親のためのサロン「みなみん」		―	未定		実10:00～12:00	要	対市内に住む、発達が気になるまたは発達障がいのある就学前の子どもとその保護者	⑥

※予約センターへの予約(9:00～17:00)は、健(検)診の10日前(土・日曜、祝休日を除く)までにしてください。予約なしの当日受診はできません。
※70歳以上および市県民税非課税世帯等は料金が免除されます(証明書等が必要)。詳しくは②健康課健康づくり係へお問い合わせを。
※胃がん検診は前日午後9時以降の飲食はできません。子宮頸がん、乳がん検診は2年度に1回受診可(平成31年4月以降の受診者は利用できません)。